



再生可能エネルギーをはじめ環境政策を研究

 すわ あき
現代社会学部 現代社会学科 教授 諏訪 亜紀

 「地域新電力」の課題を調査・研究
 環境政策ゼミで「キャンパス再エネ化プロジェクト」を推進
コメントできる
研究領域

再生可能エネルギー

地域新電力

SDGs実現企業

都市環境政策

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信しています。今回は、再生可能エネルギー政策に関する研究を行っている現代社会学部の諏訪亜紀教授をご紹介します。

■再生可能エネルギーが、社会で受け入れられるための仕組みづくりを調査・研究。

環境政策を専門とする諏訪教授は、前職の国連大学ではアジア諸国の気候変動対策と大気汚染防止の両立を目指すコベネフィット評価ツール開発を行っていました。現在は、再生可能エネルギーの社会受容性について研究を行っています。

世界各国で脱炭素社会実現が目標とされ、再生可能エネルギーはそのカギを握りますが、日本での普及には課題があります。諏訪教授はその理由を「温暖化政策・再生可能エネルギー政策が産業育成の十分な発展を妨げているため」と分析しています。再エネの拡大には消費者の積極的な選択も必要です。諏訪教授は、義務教育での再生可能エネルギー教育の充実のみならず、情報発信元となる教員やメディア関係者への情報提供・教育も重要だと考えています。また、諏訪教授は、北海道・秋田・大分などで地熱利用に関する社会調査を通じ、地域社会が再エネ技術を受け入れるための条件は何か模索しています。

■「地域新電力」は、エネルギーを地産地消するSDGs企業。

2016年4月から国内の電力の小売りが自由化され、ガス・通信など異業種から新電力と呼ばれる電力小売業者が多数新規参入しました。新電力事業は市場価格高騰などのあおりを受けて苦しい時期もありましたが、諏訪教授が着目する「地域新電力」は、地方自治体の参画や関与の下で設立され、再生可能エネルギーの活用に積極的です。地域新電力には、地域外に流出していた電力費用を地域内で流通させ、地域雇用も拡大させる重要な役割を果たす企業も少なくありません。諏訪教授は、地域新電力を「地域密着型SDGs企業」と位置づけ、地域貢献度や顧客満足度を調査しています。これら調査を通じて「再生可能エネルギーを利用したい」人々の欲求や、「再エネを利用したいから電力会社を変える」行動原理が明らかになってきています。

諏訪教授は、中長期的にエネルギー市場が安定すれば、地域新電力は電力供給先の受け皿としてさらに有効なオプションとなると考察しています。

■キャンパス再エネ化や、再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業に、学生と共に取り組む。

諏訪教授の担当する環境政策ゼミでは、2022年から「キャンパス再エネ化プロジェクト」を推進しています。学内太陽光導入量の算定などを通じ、電力のスマート利用できるシステムの構築を目指しています。また、京都女子大学を通じて京都市・京都大学などが行う「再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業」にも参画しています。これは、再エネと蓄電池等の分散型エネルギー源を組み合わせた制御技術や、再エネ発電量の予測技術等の実証を行うことで、カーボンニュートラルの達成に貢献することを目的として取り組んでいる事業です。

諏訪亜紀（すわ・あき） Profile

<http://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/Profiles/4/0000367/profile.html>

略歴 1967年生まれ。2004年ロンドン大学博士課程（エネルギー政策）修了、国際連合大学高等研究所リサーチフェローを経て、2014年より現職。

著書 『コミュニティと共生する地熱利用：エネルギー自治のためのプランニングと合意形成』（共著/2018年）

『Sustainability and the Automobile Industry in Asia: Policy and Governance』（共著/2019年）

『Local Energy Governance. Opportunities and Challenges for Renewable and Decentralised Energy in France and Japan』（共著/2022年）

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

・京都女子大学入試広報課 岡橋・竹縄

TEL：075-531-7054 FAX：075-531-7222

・京都女子大学広報デスク（プランニング・ホート内）福嶋・井上

TEL：06-4391-7156 FAX：06-4393-8216

・京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp>